

【**幼老複合施設の夏まつりで約350人の地域交流**】

高齢者事業所ご利用者のご家族の86%が幼老複合施設に「良い効果」

スターツケアサービス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：山崎千里）が運営する、認知症対応型共同生活介護『グループホームきらら東綾瀬』（東京都足立区）と併設する認可保育園『東綾瀬きらら保育園』で、7月13日、両事業所合同の納涼祭を行いました。

■幼老複合施設のスタート

足立区内でUR都市機構が進める「旧綾瀬マンション」建替事業によって生まれた整備敷地の活用事業に当社が選定され、その後2009年10月『東綾瀬きらら保育園』が開設、同年11月に『グループホームきらら東綾瀬』が開設。当社初の幼老複合施設の運営がスタートしました。

■多世代コミュニティの創造

本事業所では、グループホームと保育園が隣接されており、季節行事や日常的な外遊びでも、高齢者と園児が交流することができます。このような関わりを通して、高齢者は元気と活力を受け取り、子どもたちには思いやりが育まれていきます。当社は東京都足立区と千葉県浦安市で幼老複合施設の運営をしていますが、**高齢者事業所ご利用者のご家族からのアンケートで86%の方が「子どもとふれあうことで良い効果があると思う」と回答するなど、好評です(別紙資料.1、2)。**

今回の東綾瀬の夏祭りでも、盆踊りやゲーム、出店などを通して、地域の方、高齢者、園児とたくさんのふれあいが見られました。

今後も、子どもから高齢者までがふれあえる、多世代コミュニティの創造を体感できるような施設運営を目指して参ります。



納涼祭の様子



グループホームきらら東綾瀬（左上）
東綾瀬きらら保育園（右上）
日常の両事業所でのふれあい

< 本件に関するお問い合わせ先 >

スターツケアサービス株式会社 広報：渡辺

E-mail：s-careservice@starts.co.jp

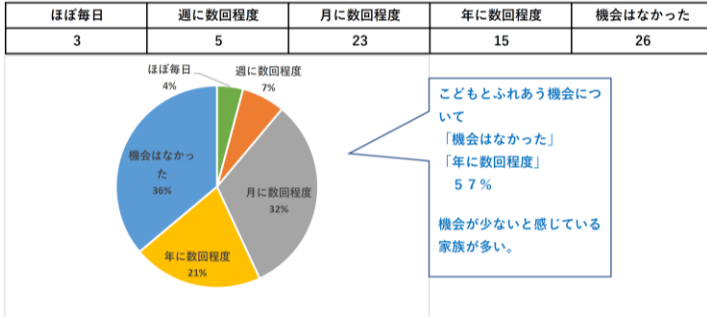
TEL：03-6880-3253（直） FAX：03-6880-3261

■ 幼老複合施設について86%が「良い効果がある」、68%が「地域に増やしてほしい」と回答

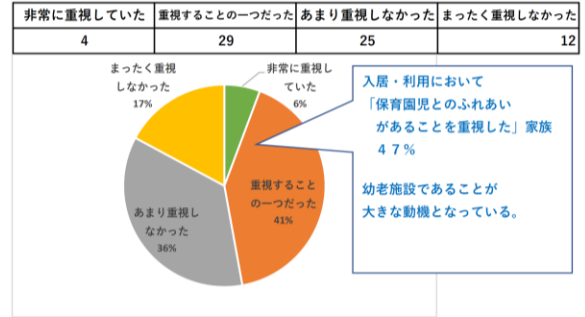
当社が運営する幼老複合施設内の高齢者事業所のご利用者ご家族にアンケートを実施。対象はデイサービス(DS)新浦安、グループホーム(GH)新浦安、YH(有料老人ホーム)新浦安、GH東綾瀬の計4事業所74名。こどもとふれあう機会が少なかった方が、保育園との併設であることに魅力を感じて入居、利用を決定しており、またその効果も実感している【資料1】

介護施設 利用者家族アンケート (合計74名 DS新浦安24名 GH新浦安6名 YH新浦安30名 GH東綾瀬14名)

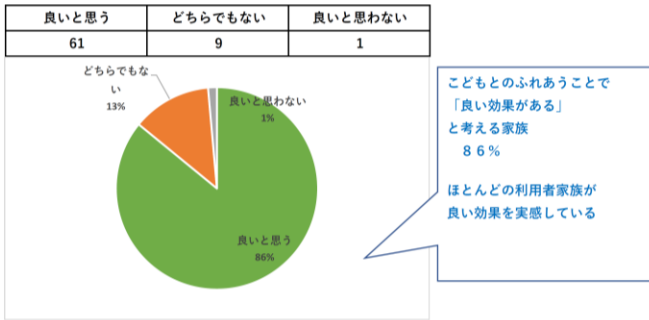
1. 入居・ご利用される前の、ご入居者様がこども(小学生以下)とふれあう機会についてお聞かせください。



2. 入居・ご利用に際して、保育園児とのふれあいがあることは重視されましたか?



3. 子どもとふれあうことは、ご入居者様・ご利用者様にとって良い効果があるとお考えでしょうか?

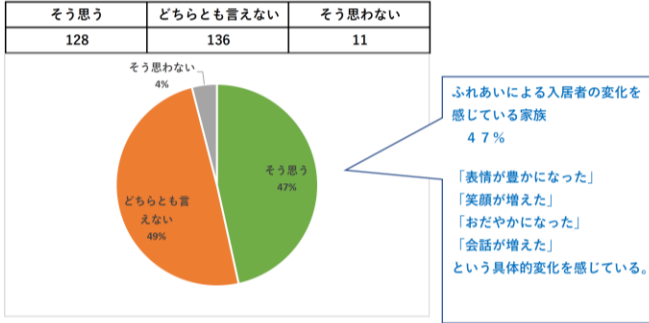


その理由

元気をもらえる
子供との触れ合いで笑顔が増える
子供との関わりで脳が活性化される
若い命に触れられて楽しい
気持ちが穏やかになるようだ
童心に戻ったり明るく過ごせる
孫とふれ合った事もないので、本人は喜んでいると思う。
形だけ設定しても設定する人の自己満足かも
感染症が心配

4. 保育園児とふれあうことにより、ご入居者様・ご利用者様に変化を感じられることがありましたらお聞かせください。

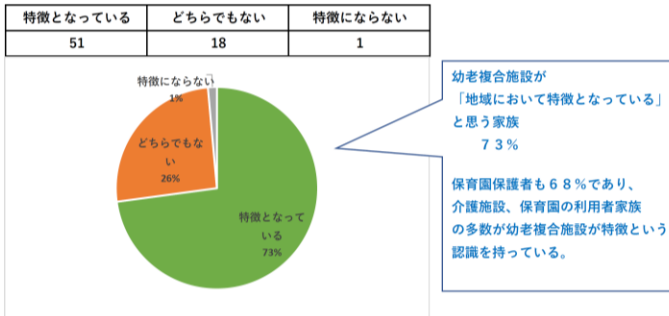
「表情が豊かになった」「笑顔が増えた」「心がおだやかになった」「会話が增えた」と思う(※複数回答)



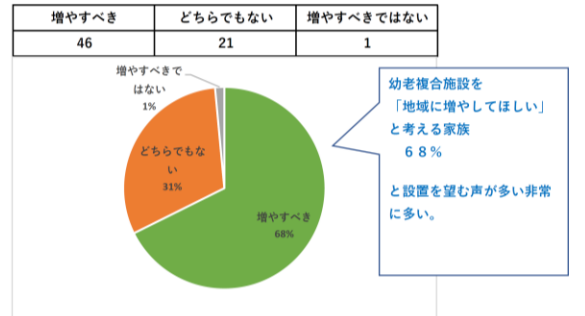
その他の変化

笑顔が多くなった
毎月送られてくる写真を見て、変化を感じた
認知症のため本人は分からないかもしれないが、一瞬一瞬の出会いで心が和んでいると思う
その場に居られず何とも言えない
急な変化はないと思う

5. 高齢者介護と保育の複合施設は地域の中でも大きな特徴となっていると思いますか?



6. 高齢者と子どもが交流できる複合施設を、今後も地域に増やしていくべきとお考えですか?



理由

保育園児にとっても高齢者にとってもプラス面が大きい
あまり聞いたことがないのでなっている
他の老人ホームとの差別化になっている
交流は他の施設では見られない
近場で触れ合える環境が良い
自宅では、なかなか体験できない良いこと
どの程度の交流があるか把握していない為、判断できない

理由

世代間の交流が出来てよいと思う
子供たちがお年寄りにやさしくなる
お互い持っている力の交流で元気になると思う
子供と交流できる高齢者が少なくなっていると思うので増やすべき
昔は保育園や小学校は高齢者をイベントに招待して楽しんでいた施設にいると孫に会いに行く事も難しい。子どもが来てくれると嬉しそう増えるのは良い事だと思うが、無理に増やすことは疑問を感じる
高齢者の方たちの病気の状態にもよる

■ 幼老複合施設について71%が地域に「増やすべき」と回答

当社が運営する幼老複合施設内の保育園に通う園児のご家族にアンケートを実施。

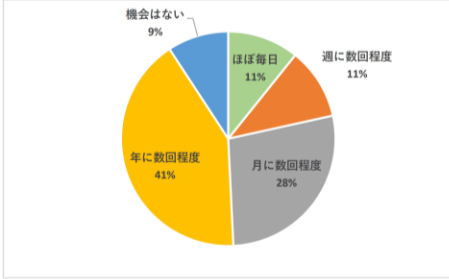
対象は東綾瀬きらきら保育園、新浦安きらきら保育園の計2事業所66名。

複合施設で高齢者とふれあうことについて、具体的な子どもの変化の実感は少ないが、「良いと思う」と91%が期待し、幼老複合施設を増加を望む声も多い。【資料2-1,2-2】

保育園 保護者アンケート (合計66名 東綾瀬38名 新浦安28名)

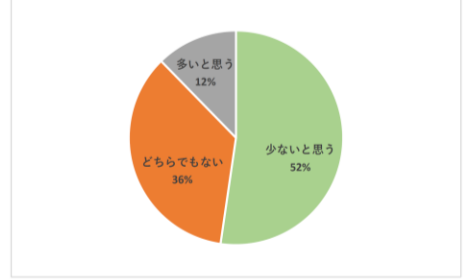
1. きらきら保育園以外で、お子様が高齢者とふれあう機会についてお聞かせください。

ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	機会はない
7	7	18	27	6



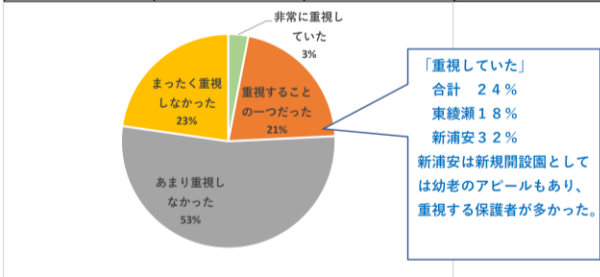
2. お子様の日常生活での高齢者とのふれあいは少ないと感じますか？

少ないと思う	どちらでもない	多いと思う
34	23	8



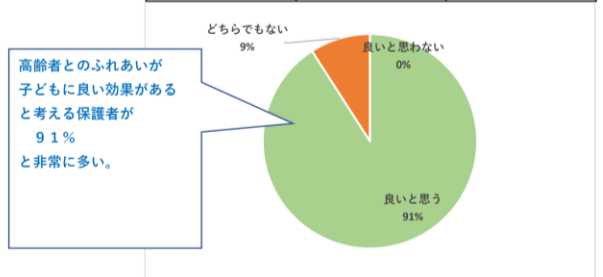
3. きらきら保育園の入園希望に際して、高齢者とのふれあいがあることは重視されましたか？

非常に重視していた	重視することの一つだった	あまり重視しなかった	まったく重視しなかった
2	14	35	15



4. 高齢者とふれあうことは、お子様の成長にとって良い効果があるとお考えでしょうか？

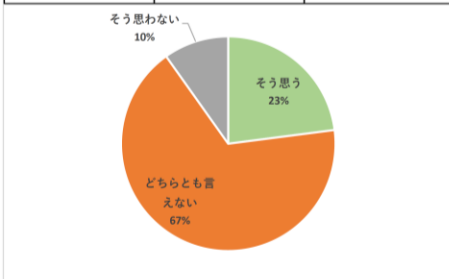
良いと思う	どちらでもない	良いと思わない
60	6	0



5. お子様に変化を感じられることがありましたらお聞かせください。

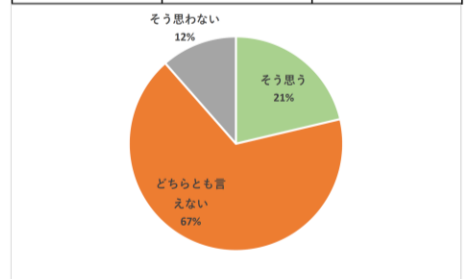
高齢者を大切にできるようになった

そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
14	41	6



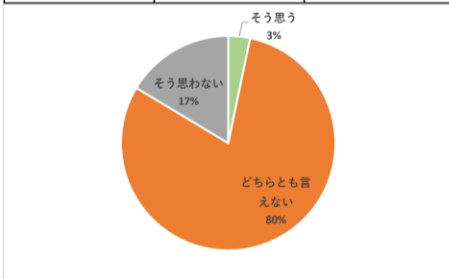
人を援助することができるようになった

そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
13	41	7



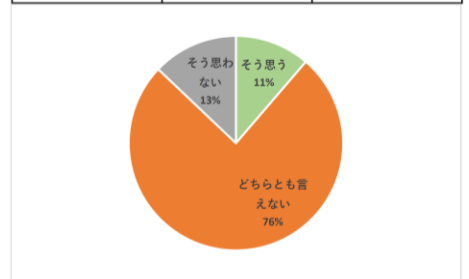
性格がおだやかになった

そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
2	49	10



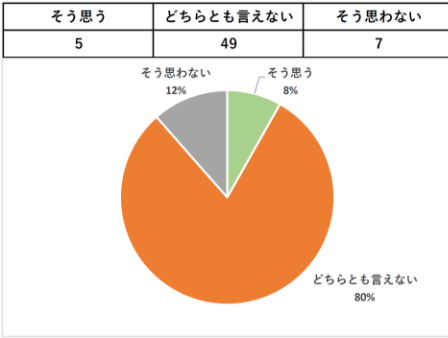
礼儀正しくなった

そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
7	47	8

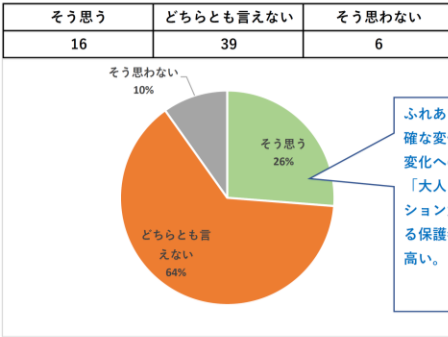


【資料2-2】

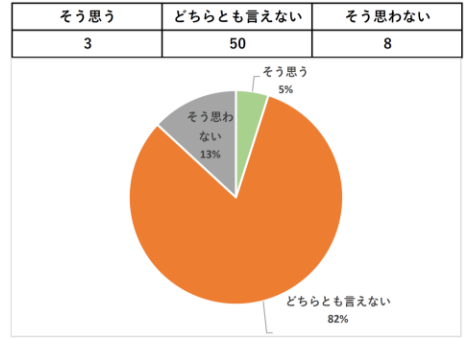
協調性が豊かになった



大人とのコミュニケーションがとれるようになった



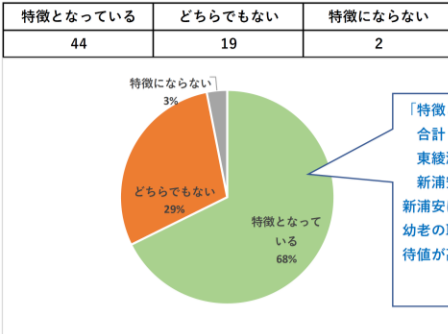
命の大切さを考えられるようになった



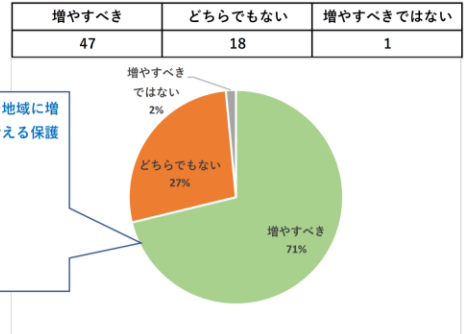
その他の変化

- ・道で会う高齢者をおじいちゃんおばあちゃんと呼ぶ
- ・おじいちゃんおばあちゃんに自分からあいさつします。
- ・まだ幼いため、変化までは分からない
- ・触れ合っているのかも不明
- ・まだ二歳なので変化というほどではありませんが、今後も継続して欲しい取り組みです
- ・交流の頻度、内容についてはよく承知していませんが子どもの変化はわかりませんが「おじいちゃんと遊んだ」とよく話してくれます。
- ・まだ小さくて変化がわかりません
- ・まだ直接変化を感じることができませんが、これから色々話してくれることを楽しみにしています。

6. 高齢者介護と保育の複合施設は地域の中でも大きな特徴となっていると思いますか？



7. 子どもと高齢者が交流できる複合施設を、今後も地域に増やしていくべきとお考えですか？



理由

- ・お互いに刺激がある環境で周りにあまりないので良いと思う
- ・一緒に行う行事があるため
- ・子どもと高齢者が同じ建物で交流できることは双方にメリットがあります。
- ・このような大型複合型施設はあまりなかったので話題性もあり注目すべき施設だと思います。
- ・併設されている園は少ないため
- ・近隣にも同様の複合施設がある事から特徴的だと思う
- ・特徴とまで言えるかは不明
- ・特徴とはなっているが、大きな特徴とは言えないため
- ・併設している保育園は少ないので特徴になっていると思う
- ・そんな形態はたくさん知らないの
- ・今はまだ、と思います。これからそうなってほしい。
- ・近所にないので強みになると思う。
- ・浦安ではまだないので。
- ・浦安には今までなかった複合型施設なので今後浦安市での取り組みの見本になると思います。
- ・ほかにはないとおもいうから
- ・市内でほかの取り組みを知らないから。
- ・地域に開かれた行事があるとは思わないため
- ・高齢者と子供の当事者間では影響を与え合うが、地域の中で大きな特徴となっているかは疑問であるため

理由

- ・優しい気持ちで育つといいなと思うため
- ・これから高齢化が進むので子供と触れ合うことが多くなれば
- ・良好な近隣関係が築けそう
- ・高齢者の皆様にとっても子どもとの触れ合いは心を豊かにすると思う
- ・これから高齢化が進むので子供と触れ合うことが多くなれば
- ・良好な近隣関係が築けそう
- ・自ら高齢者と交流することはないので、地域で企画すると良いと思う
- ・どちらにしても良い効果があると思われる
- ・祖父母が遠方だと関わる機会が少ないため
- ・高齢者に限定せず、様々な年齢層の人が交流できる場が子供の成長には必要であると考えたため
- ・それぞれの施設が子どもの教育に必要なと思うことを取り入れた施設運営をしていければいいと思う
- ・高齢化が加速的に進むので、高齢者が身近になるのは良いと思う
- ・子どもにとっても高齢者にとっても良い事と思う
- ・核家族が進む中、色々な世代の方と交流すべきだと思う
- ・子どもにとっても教育上必要な施策と思いますが、高齢者の多い地域社会においても、子どもと触れあってもらうことで子どもやその親世代に理解を得やすくなるのではないかと
- ・小さい頃からお年寄りと過ごす機会があるのは良い事なので
- ・高齢者の交流も含め、子どもには色々な経験が必要と思うから
- ・お互いに良い効果が生まれると思います。
- ・核家族世代が多い地域なので子どもの成長に良いと思う。
- ・地域の活性化にもつながり元気いっぱいの子どもたちを見て高齢者も活力がわくと思う。
- ・ダイバーシティというか、子どもが「世の中にはいろんな人がいる」と知るの早ければ早いほど良いと思っています。高齢者の方との触れ合いはその第一歩になるのでは。
- ・高齢者と園児とのバランスが良く安全を考慮し、増減を考えて頂きたい
- ・高齢者側の希望次第では。子どもの声を騒音ととらえる方もいるため